

KiKiの広場

2014年 9月 1日

cafe NO.47
KiKi



お盆を過ぎて発生した広島のと砂災害、一夜明けての現場の様子に言葉を失いました。一瞬にして多くの人の命と生きる希望を奪ってしまう残酷さ、想像を絶する恐怖を目の当たりにされたみなさんのことを思うと、胸が押しつぶされそうになります。東日本大震災を始め各地で繰り返す起こる自然の脅威、日本中いや世界中でたくさんの方々が苦しんでおられるということを、決して忘れてはならないと思います。改めて今自分にできることを考え、取り組みながら、日々を大切に過ごしていきたいと思ひます。

9月の予定

9日(火)	休館日
毎日曜日	定休日



「今月のケーキ」・・・「マロンケーキ」 350円

マロンクリームをカラメル風味のスポンジではさんで、クラッシュマロンとマロンペーストをトッピングした、毎年人気のケーキです。



今月のお気に入り・・・「お月さまの絵本」

～ 「リスとお月さま」「まんまるおつきさまをおいかけ」「たくさんのお月さま」「うきわねこ」 などなど ～



今年の中秋の名月は9月8日、そして今年最大の大きさだった8月11日に次ぐスーパームーンが見られるのが9月9日だそうです。楽しみですね。「リスとお月さま」は、見返しの絵からお話は始まっています。それを見逃すと、リスと一緒にとんでもない勘違いの世界に突入してしまいます。想像力豊かなリスのかわいらしさと、合間合間の妙にリアルな想像シーンに笑ってしまいます。お月さまと関わる動物たちもリスに負けないうらいとぼけたキャラクターで、ユーモアたっぷりのかわいい絵本です。



今月の本欄・・・「ナンセンス絵本」

～ 「ぞうのボタン」「おじさんあそびましょ」「まがれば まがみち」「まくらのせんにん そこのあなたの巻」 などなど ～



ナンセンスとは、「意味のない」「ばかげている」という意味ですが、ストーリーなど吹っ飛んで、何も考えずに笑えるような本も時にはいいですね。40年も前にまずアメリカで出版されたという「ぞうのボタン」は、字のない絵本です。身体についたボタンをはずすと中から別の生き物が出てくるのですが、ありえないものが出てきたりして、とっても楽しいです。今回紹介する本はどれも、びっくりするようなストーリー（と言えるのかどうか？）と、登場人物たちの奇想天外な言動に、「え～？」と思ったり笑ったりしながら、気が付くと心がほぐれて癒されること間違いなしです。笑って必要ですね。



ほっとフレイク

「ヒストリア字部」と「cafe KiKi」がオープンして、もうすぐ丸4年になります。スタッフも、この春受付の学生スタッフが卒業し新メンバーと入れ替わりましたが、あとのスタッフはオープン当初と変わっていません。変わったのはみんなの年齢だけ・・・(^_^;)

そしてもう1人、トイレの清掃をしてくださっているお花のKさんです。オープンした年から花を通してのお付き合いが続いています。寒い時期も暑い時期も花の状態を見ながら、花がきれることがないよう自宅から持ってきてくださっています。夏場などはすぐに枯れてしまうので2～3日置きです。先日も大雨の中バスに乗って大きな束を抱えて来ていただきました。

カフェのお客さまがよく言われるのは、「ここはいつもお花がいっぱいあっていいね。」です。改めて思うのですが、この4年近くの間、生きた花が毎日欠かさずあるというのはすごいことではないでしょうか。感謝という言葉だけでは言い表せない重みと想いを感じています。「ヒストリア字部」の環境衛生部長(?)として、Kさんもなくてはならないスタッフの1人です。



気心知れた同じ顔ぶれで仕事を続けられる幸せを味わいながら、5年目も楽しく大切に過ごしたいと思ひます。